

# ゆきよし訪問看護ステーションの 現状と来年度の課題

ゆきよし訪問看護ステーション 看護師 東舘麻貴

# 訪問看護とは？

訪問看護とは、病院・診療所・訪問看護ステーションから、病気や障害を持った人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供しながら自立への援助を促し、療養生活を支援するサービスです。

# ゆきよし訪問看護ステーション

## 平成24年4月1日開設

### スタッフ

管理者	1名
看護師(常勤)	1名
看護師(非常勤)	1名
理学療法士	15名
作業療法士	11名
言語聴覚士	3名

### 利用者

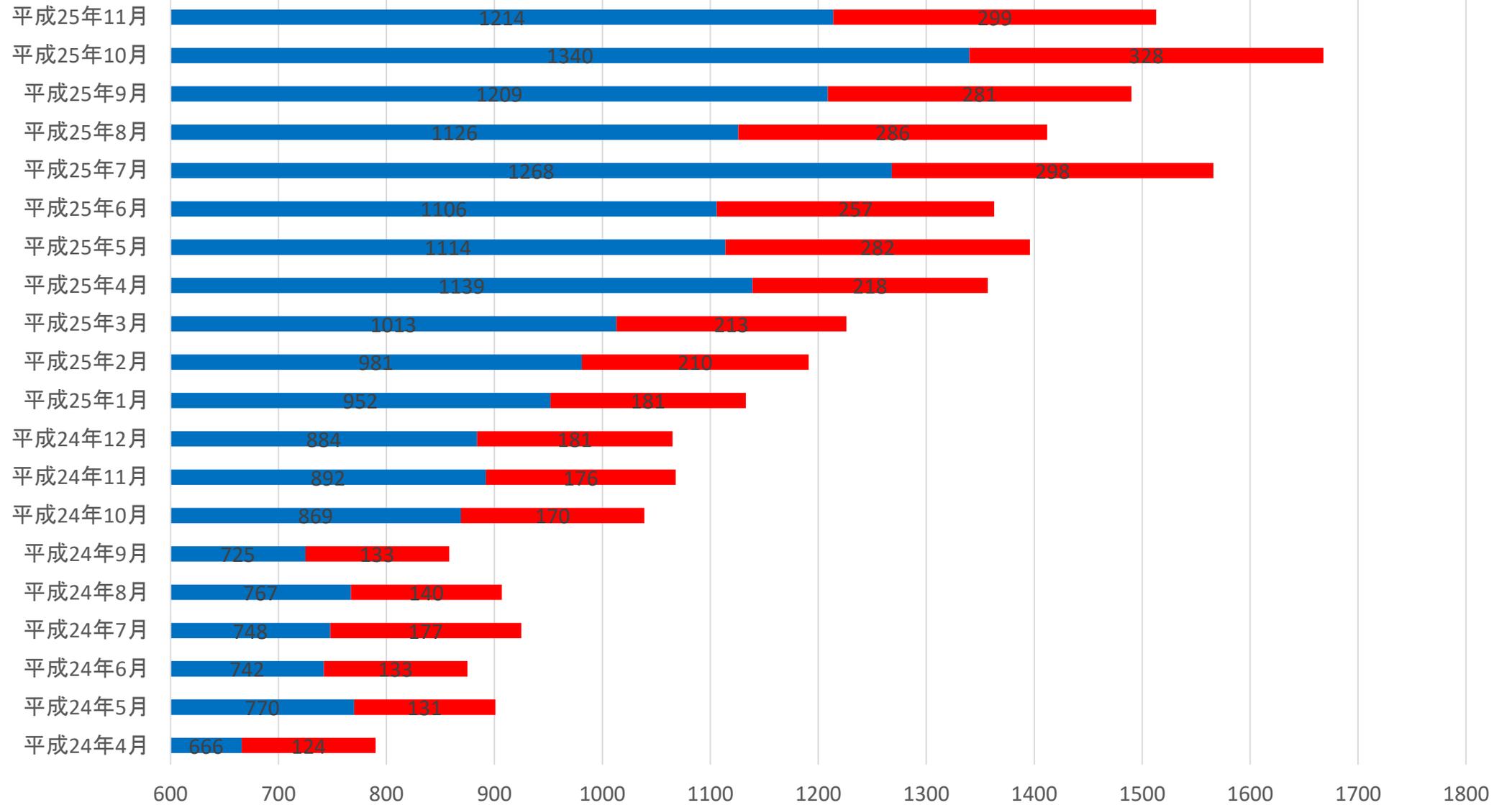
医療保険	80名
介護保険	318名
計	398名(休止中、入院中含む)

平成25年12月1日現在

# 月別訪問実績

■ 介護保険

■ 医療保険



# 看護師の訪問

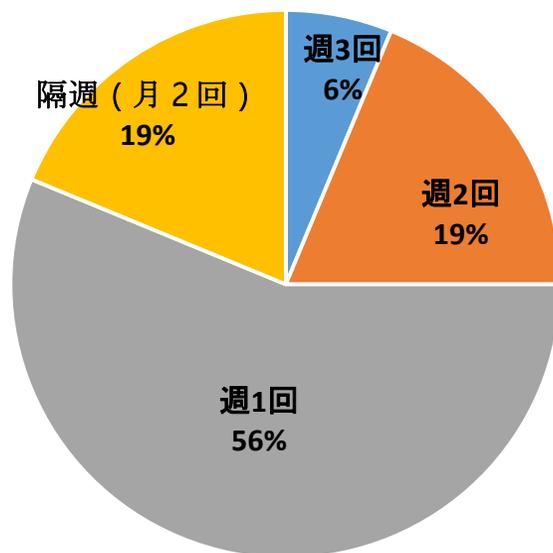
主な疾患 脳血管疾患後遺症 認知症 神経難病(ALS パーキンソン病)  
頸髄損傷など

主な看護内容 病状管理 服薬管理 清潔援助(入浴介助・清拭・足浴等)  
リハビリ 精神的ケア 認知症ケア 介護者の相談・支援 褥瘡処置 排便  
処置など

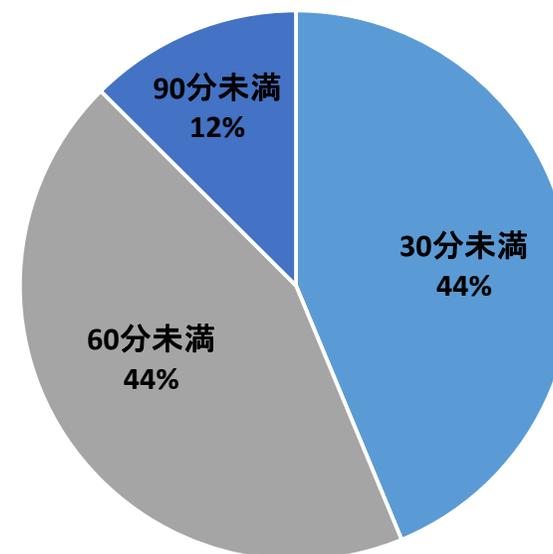
医療保険 4名  
介護保険 12名

緊急時訪問看護加算を取っている利用者 8名  
リハスタッフと複数訪問している利用者 9名

訪問回数



提供時間



# 看護師の訪問の問題点と課題

- 現在、主に一人で訪問している為、ステーション内で看護内容について話し合いが出来る機会がない。別の目が入る事で、より良いケア方法・介入方法が見出せるのではないか？
- リハスタッフのみの訪問利用者の中に看護師の訪問が必要な方がいるのではないか？

⇒まずは、訪問件数を増やしスタッフの充実化を図る。

ステーション内の利用者の情報整理を行いたい。

# 訪問看護ステーションにおける問題 点を知る為に・・・

先日行われた集団指導で指摘されていた記録に関する内容を主にアンケートを作成。

対象：訪問業務に従事するスタッフ30名

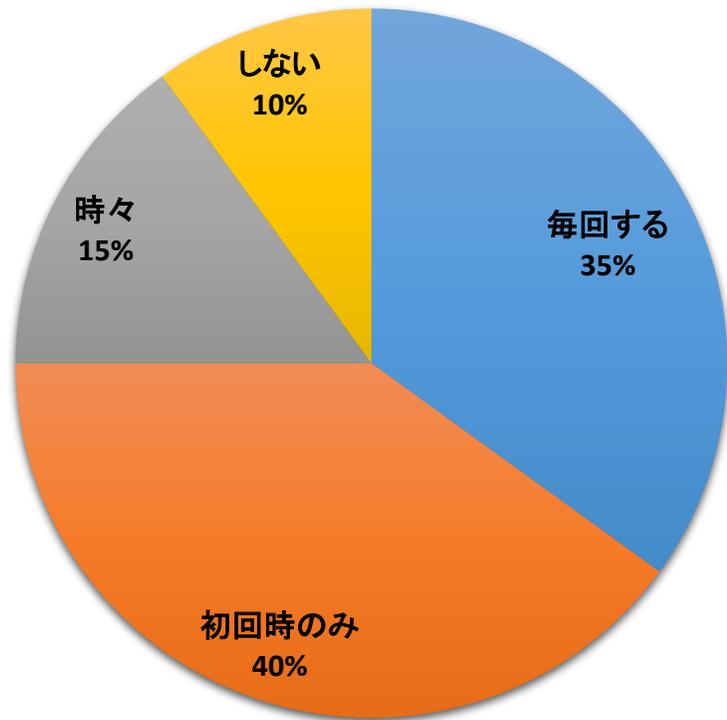
回答率：30名中20名 66%

# 訪問看護指示書について

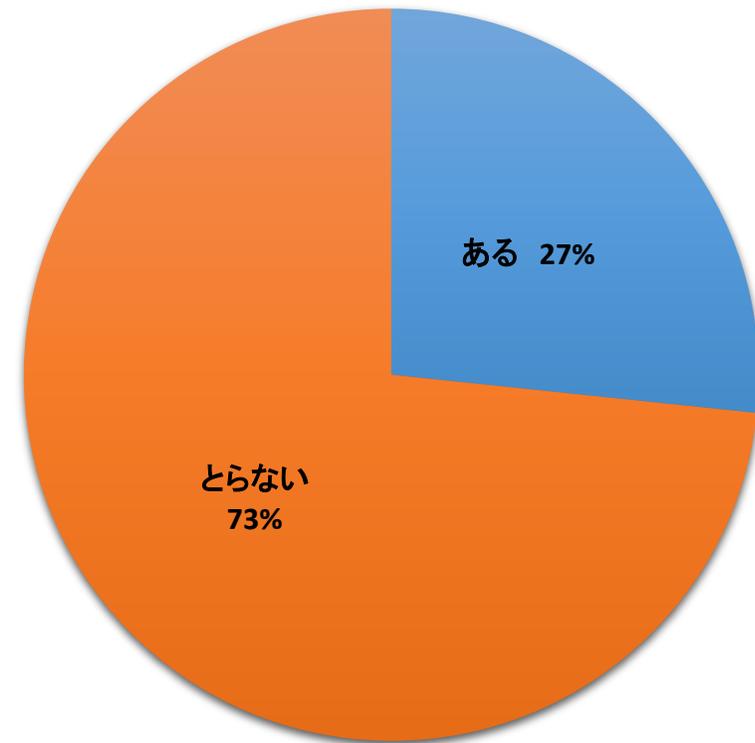
訪問看護の実際

主治医から交付される訪問看護指示書に基づき、看護を提供する。

### Q1 指示書の内容に関して確認をしているか



### Q2 主治医と連絡を取ることがあるか



# 指示書についての問題点と課題

- 大半は初回指示書の確認はするが、初回以降は確認していない事が多い。
- 確認をしていない事もある。
- 主治医と連絡を取る機会がない。連絡を取ると回答した中ではケアマネージャーを通して取るという回答が多かった。

⇒ 医師の指示のもと看護・リハビリテーションを実施するのであり、指示書の確認は必須である。各スタッフへの周知徹底が必要。

実際に訪問し【必要な指示】【不要な指示】があった場合は主治医へ連絡することも必要となる。

日報（毎日の訪問記録）について

## Q1 困っている事や改善した方が良い事は？

- 業務時間内に記録する時間が欲しい。
- ファイルで送ってしまうと、自分で記録を振り返って見ることができない。
- 何を記載したらよいか迷う。
- 最低限どんな事が書いてあればよいか分からない。
- 記載方法が統一されていない為、自己流になっている。
- システムに関してのエラーを改善して欲しい。

Q2 自分の担当以外の日報を見る事がある？

はい・・・9名

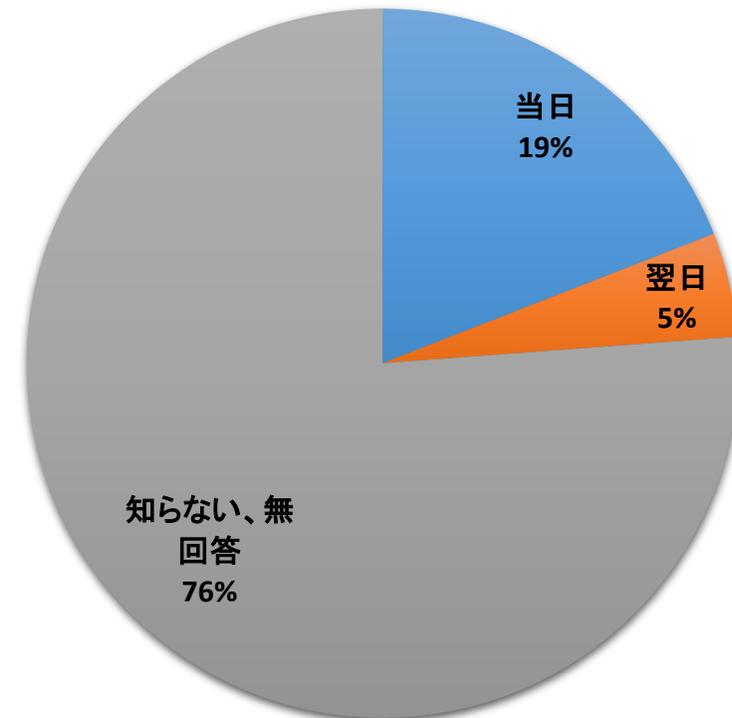
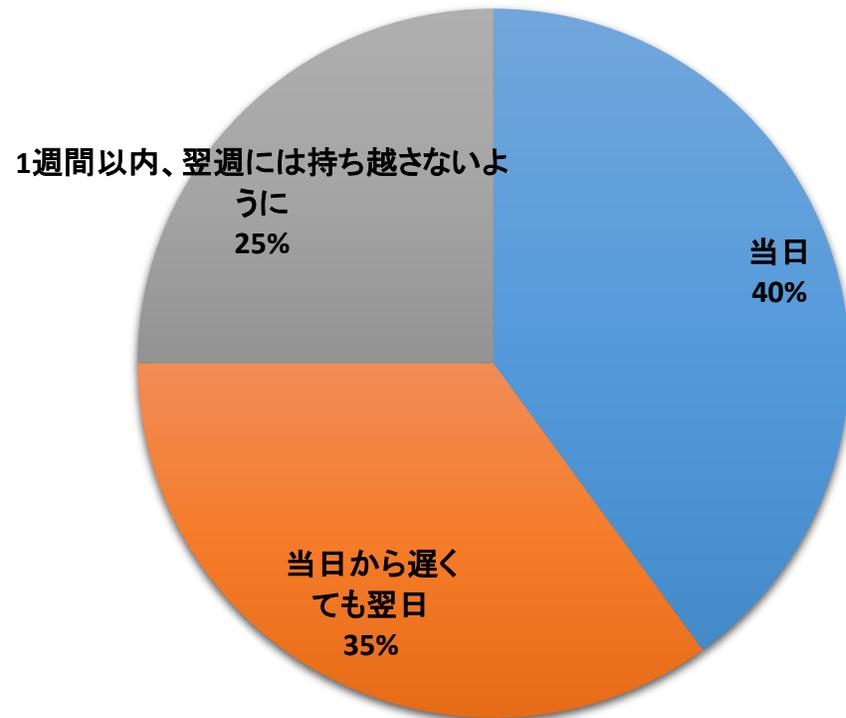
いいえ・・・11名

- 複数担当のケース
- ケースの引き継ぎ時
- 楽しいちや通所リハで担当している方の情報を知りたい時
- 日報の書き方で困った時、悩んだ時

# Q3 日報の提出に関して

①何日以内に提出するよう心掛けている？

②日報の提出期限は知っている？



# 日報に関する問題点と課題

- ・記載内容が統一されていない。

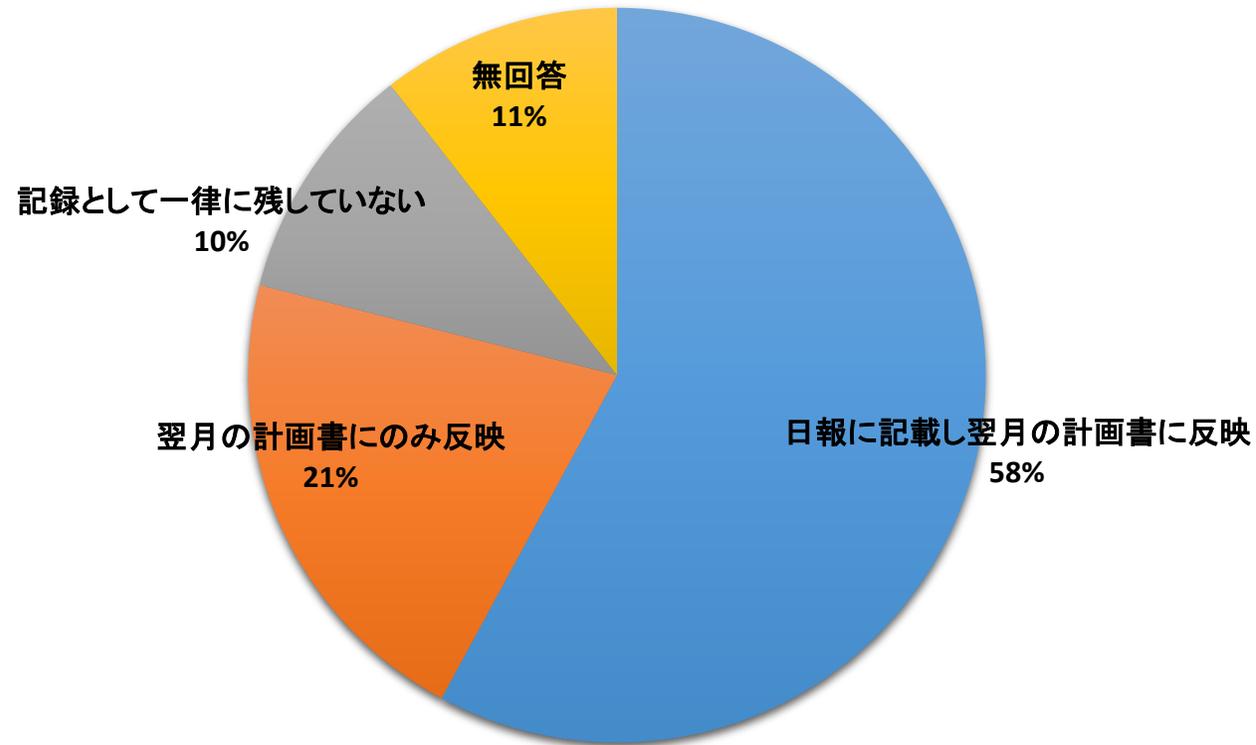
⇒他スタッフが見る場合も多い。紙面上で欲しい情報が簡潔にわかる様な記録方法・内容の統一化が必要。記録を簡潔明瞭に統一する事で、記録時間の短縮が図れるのではないか。

- ・提出期限の周知ができていない

⇒事務業務に支障をきたすことが多い。提出期限の周知徹底が必要。

# 報告書・計画書について

# Q1 計画内容の修正や追加を記録に残しているか



## Q2 毎月作成するうえで困っている事や改善した方がよい点は？

- バーセルインデックスの記載がしにくい、利用者に分かりにくい。
- 記載内容がスタッフにより様々で統一されていない。
- 変化がない利用者の記録の仕方を悩む。
- システムの改善を望む。
- 複数担当の場合、他スタッフの介入状況が十分把握できていない。
- 目標や計画に対する評価の仕方、時期が決まっていない。

# 報告書・計画書についての問題点と課題

- 評価修正が記録に残されていない事がある  
⇒記載する事を徹底していく必要がある。
- 明確な評価ができていない。  
⇒評価方法を見直す。利用者にもわかりやすい評価方法にする必要がある。変化の見えない利用者でも計画の見直しが必要
- システムのエラーがある  
⇒システムの改善を行う。

# 日々の業務で感じる問題点と課題

- ・長期間利用されている利用者と担当スタッフの間は慣れが出てしまっているのではないかと感じる。

⇒長期利用者は担当を変えても良いのでは？

- ・複数担当の場合、担当スタッフの情報交換が積極的に行われていない現状がある。

- ・ステーション内のスタッフの連携が不十分と感じる。

- ・相談できる機会・時間が少ない。

⇒スタッフミーティングの活用。各職種ごとにスタッフを取りまとめる人を立ててはどうか？

- ・震災時やリスク管理、苦情などに対する対策が不十分。

- ・利用者の情報をメールでやり取りする事に不安がある。

⇒マニュアル作成やスタッフへの意識付けが必要。

# 次年度の課題として

スタッフが生き生きと、よりよい看護・リハビリテーションを提供するために...

- スタッフ間の連携やミーティングを充実化させる。
- 記録類を見直す。
- 震災時等の対応マニュアルの作成とリスク管理意識の向上化。